|  |  |
| --- | --- |
| 会　議　名　称 | 令和元年度第１回沼田市子ども・子育て会議　会議録 |
| 開　催　日　時 | 令和元年8月３０日（金）午後１時３０分～午後３時３０分 |
| 開　催　場　所 | 沼田市役所　会議室６０３ |
| 委員出欠状況 | 出席　１６名・欠席　４名 |
| 傍　 聴　 者 | ０名 |
| 事　 務　 局 | ７名 |
| 配　付　資　料 | 別紙のとおり |
| 会　議　次　第 | 1. 開会
2. あいさつ
3. 子ども広場見学
4. 議事

（1）「沼田市子ども・子育て支援事業計画」について（2）公立保育園民営化ガイドラインについて5　その他　　・先進地の事例紹介について（委員より発表）６　閉会 |
| 発　 言　 者 | 発　言　内　容 |
| 委　員事務局委　員事務局委　員事務局委　員事務局委　員委　員委　員事務局委　員事務局委　員委　員委　員 | **議事1　子ども・子育て支援事業計画について**（事務局より説明）現在の保育園の待機児童の状況はどうですか。４月１日現在は、0です。年度の途中ですと低年齢児の入所が厳しい状況です。計画の策定にあたってニーズ調査はしたのですか。昨年度、平成31年度にニーズ調査を実施しました。本日、ニーズ調査の報告書の製本を配付させていただいております。昨年度末の会議において口頭でニーズ調査の結果説明をさせていただきましたが、改めて目を通していただきたいと思います。**議事2　公立保育園民営化ガイドラインについて**（事務局より説明）民営化に向けての現状の市の方針はどうなのでしょうか。ガイドラインの中でも多少ふれているのですが、アンケート調査とすると現状維持ということできています。子どもの数やニーズもありますので、そのへんのところは急な変化というのではなくて、新しく運営を移管できるところが決まったところで、何年かはそうするのか、またそうできるのかという話を含め、子ども・子育て会議などの中でご意見をいただいて年数なり、なんらかの条件づけをしたいと思っています。では何年か維持したら、どこへ向かうのかという先のころを伺いたいのですが。そのへんは、事業計画の見込数も含め長期の展望で考えていかなくてはいけないと思っています。資料4－7、民営化に関するガイドライン（案）の３ページの運営に関する条件のところで、違和感を感じているのですが公営は厳しいというところで民営化に変わるわけですが、市の立ち位置が民間に委託しながら上から発言されているなと、例えば園服はそのままにしなさい、など継承するところの努力が相当ないと厳しいような条件が出されているような印象があります。その上で３年間はものを言いますよという、かなり平等性が欠けるなということもあるので、なぜ民営化にするかということをもう少し検討したほうがいいと感じました。今回、プロポーザル形式をとるということですが、優れた提案をということですが、条件が細かくて、保育目標が設定されている中で優れた提案は、何で差をつけていいのかというのがわかりません。自由な提案ができないような形なのでよく専門委員会の中で検討したほうがいいのではないでしょうか。全国の公営から民営にした事例は調べているのでしょうか。そこの公開されているガイドラインはあるのでしょうか。公開されているものがあります。なるべくこちらの意向にそったものをセレクトしてアレンジしている形になっています。転換後、成功している事例を調べたほうがよいと思います。ここだけはという条件だけしぼって、あとは自由度があるほうがいいのではないでしょうか。アンケート調査では、どうしても急激な変化を求めないような意見が非常に多かったものですから、どうしてもそちらを考えてしまったということがあります。園を経営している立場でいうと、ある程度市で規制していただかないと、これから子どもの数が少なくなり、共存していかないと大変なんじゃないかなと思うので市の規制もある程度大事なんじゃないかなと思っています。あまり自由にすると自由競争になって、これから子どもが少なくなって子どもの取り合いになることもありますし。沼田市が土地や建物を安くするのだったら条件を細かくするのはいいが、そうでないのならこの条件は厳しいということになります。専門委員会で検討ということでしたが、まず沼田市が土地や建物をどうやっていこうというのが決まっていなければ話をしたとしても決まらないのではないでしょうか。そっちを先に決めてもらうのがよいと思うのです。どんな保育園にしたいかというのをここで決めていくのはいいが、沼田市はいくらでというのは決められないのでそこをまず決めてもらわないと話にならないという印象があります。 |